



令和7年5月1日（木）、十和田市立法奥小学校の児童がふるさとクリーンウォークを実施しました。クリーンウォークでは、1年生と2年生は学区内にある用水路を辿りながらろまんパークまで、3年生以上はバスで奥入瀬溪流石ヶ戸休憩所まで移動後、十和田湖の子ノ口まで歩きながら、地域の特色や水と自然の役割について学びました。



【法奥小学校にて開会式】

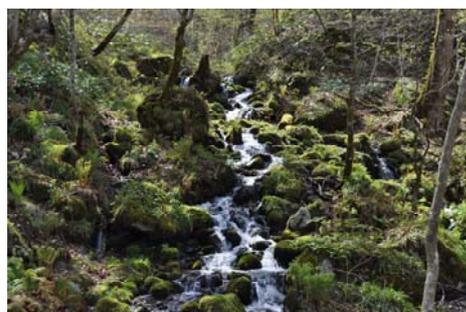


【スタート地点（石ヶ戸休憩所）】

3年生以上が参加した奥入瀬溪流を歩くコースでは、ボランティアガイドが同行し、解説を交えながら散策しました。雨として降った水がどのように川になるのか、聞こえてくる鳥の声は何の種類なのか、周囲に生息する動物の残した痕跡についてなど、児童たちは熱心に頷きながら耳を傾けていました。溪流沿いは高い標高と川の流れから涼しい気温となっていました。一生懸命に歩いた児童たちの中には暑くなり、上着を脱ぐ子もいました。



【奥入瀬溪流を散策する児童】



【奥入瀬溪流の様子】

子ノ口に到着後は遊覧船へ乗船し、持参したお弁当で昼食を挟みながら休屋まで移動します。その後、5年生は十和田湖ビジターセンターを見学し十和田湖の歴史などについて詳しく学び、3・4・6年生は今回の野外学習のテーマにもなっている清掃活動を行いました。奥入瀬溪流の遊歩道を踏破した直後でしたが、児童たちは事前に用意したゴミ袋を片手に周囲のゴミをお互い競い合うように拾い集めていました。



【遊覧船で子ノ口から休屋へ】



【休屋周辺での清掃活動】



【清掃活動の成果】



【集合写真】

関連事業：中山間地域ふるさと活性化事業（通称：ふる水基金、棚田基金）
<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/noson/hurumizutanada.html>